

# 障碍をもつ幼児の保育(23)

ーーこの子と出会ったときーー



津守 真江  
(F) (M)

## 遊びが伝えてくれること

電車遊びから水遊びへ

遊びには子どもの心が表現されています。前回は遊びには子どもの心が表現されています。前回は子どもが感じていることを、電車のおもちゃで遊ぶことから考えました。今回は『水の流れで遊ぶ』ことから考えてみようと思います。

よりダイナミックに

F 孫のK男は二歳過ぎになつて、電車で遊ぶことがますます好きになりました。うちに遊びに来たときは、電車はあつても玩具のレールがないので、座敷の畳のへりで電車を走らせたり、障子やガラス戸の敷居の上を走らせていました。木の建具が少し

歪んで隙間ができる所があつて、そこにも入つて行けるんです。トンネルになるんです。

M 私の子どものときも、その頃はプラレールなんていから、敷居はとてもいい電車のレールでしたね。この子と遊ぶうちに私はそんなことを思い出します。

そんなことをしているうち、K男は縁側から庭に出て遊び始めました。私がホースで水まきをするとき、じきにホースの水まきを手伝い始めて、水の流れに興味をもつてじつと見ていました。水を強く出してほしくて「大きく」というので水栓を大きく開きます。どろんこが手につくのをためらいながら、水の流れが石にぶつかって方向を変えたり、分かれたりするのを見ているんです。

F 流れを見て『別れ道』って言つたのです。そして『行き止まり』『立ち止まり』という言葉も出て、それを聞いて私は何だかはつとさせられました。人

生の旅の大事なことを言い当てるような気がしたんです。

この子、哲学者かしらなんて（笑い）。でも、この子は言葉で表現をするのはじきに少くなつて、靴やズボンの裾を濡らしながら流れの縁を歩きました。

M そうね、たしかに電車で遊ぶのも好きだけれど、水の流れで遊ぶときのほうがダイナミックで子どもらしい勢いがある。

#### もつと自由に

M 小雨が降つて来たときも、もつとやりたくて仕方ないから大きな大人の赤い帽子をかぶつて遊んだね。

どんどんこ、どんどんこ、どんどんこ  
赤い帽子の小坊主が  
どんどんこ、どんどんこ、歩いてる

こんな歌をうたいながら歩くと、きやつきやと笑つて私たちと行列をするんです。水の力は大きな

もんだね。

F たしかに水の流れの勢いは子どもの心の深いところに働きかけ、枠を取り払つて自由にする力がありますね。

M もっと小さいときは、どろどろ、べたべたがきらいだと思っていた子がそういうことから自由になつてゐるのです。

M 電車が繋がらなかつたり、思うように行かないでかんしゃくを起こす子を見ると、そのときは子どもの体が堅くなっています。水で遊ぶときは体が柔らかくなるのです。

### 水遊びと身体（子どもが便秘のときに）

考えてみると、愛育学園の子どもたちのなかには毎日水をしないといられない子もいます。水遊びは

実に多様で、語りきれないほどいろんなことがあります。水は流れていることが重要で、流れなくなると、子どもはもっとよく流れるようにしてくれと注文します。水を流しながら、おしつこをしたり、ウンチをすることもあります。流れのイメージは身体の内部にも共通に働いているのでしょうか。

F 水遊びをしていると体が柔らかくなるということは、どんな意味があるのでしょう。

M 体と心は繋がつたものだから、心が不安になつたり、緊張したりすれば、体も堅くなるのでしよう。



愛育学園の子どもの中には、不安が強かつたり緊張していると思われる子もいます。そしてかなりひどい便秘の子もいますが、これを見ると生理的な問題と心の問題とが切り離せないのです。

この間も一人の女の子が怒つてひっくりかえつて泣いていました。何が起こったのかと担任の人にたずねると、この子が外の流しに水を入れようとしているのに、水の出方が細くてなかなか水が溜まらない。それで怒っているとのことです。

そうして水がいっぱいになり溢れると、やつときげんが良くなりました。お母さんも担任の人も、便秘と水の流れと関係があることに気づいていました。

便秘になると水遊びが激しくなる。水遊びをしているうちに体が柔らかくなつて便が出たりします。  
F うちでも子どもの小さい頃、おふろの中でうんちが出たくなつたりしたのを思い出しますね。

### どこから来て、どこへ行く

M 水で遊んでいると、水がどこから来てどこへ流れ行くのか疑問が出てきます。うちの孫も、水が特別に関心があります。どこから来てどこへゆくのかということは人間の根源的な問いでしょう。

F それを求めて地下室にまで探検に行つた子どもことは忘れられません。その年は渴水で、水道の制限があつた夏のこと、どうしても納得出来ない子どもとなぜ水が出ないのか、大人の意地悪じやなく水が出ないという事実を納得するまで時間がかかりました。それ以後私は親たちに「この子たちにとつて水は『心のお薬』だから子どもの水遊びは制限しないで、全自动の洗濯機の水の使用量をみんなで減らそう」と呼びかけました。

M 雨の日にうちの屋根の樋から足元に流れるちょ

ろちよろの水を孫が見て、どこからくるのか不思議がつたとき、屋根の上の、空の上の、『天』からだよと話しました。

### 保育者的心に流れるもの

F 子どもが水を流して遊ぶとき、自由でダイナミックな想いをもつています。そうすると、どちら遊びはただ楽しいだけでなく、人生の大変なことを学んでいることが良く分かります。二股に水が流れると、『別れ道』であり、水が『行きどまり』になつて行き場を失つているとき、石ころが流れの縁に『立ち止まって』いるとき、成長する子どもにとつてはいつかまた人生の大変な時に出会う出来事だと想うのです。

青年が独り立ちするとき『砂場はぼくの人生の原点』だったと言つたということを聞きました。言葉で表現できない子にとつても、それは同じです。

M こんなことをしていては、普通の子どもといつしょに幼稚園や保育所でやっていけないのでないのかという心配を持つ親もあります。しかしこの子たちにとつて心の中にイメージで蓄えるということがどんなに大切か、お母さんと話しています。

お母さんだけでなく、保育者も常識の枠を取り去つて自由にダイナミックに心の流れを良くしてほしいと思う。

流れないで溜まつてしているときは『行き止まり』の意味を考えつつ、溜まつた水が次第に澄んでくるのをゆつくり待つて、『保育者の思索』をしてほしいと思います。